

病院

問い合わせ
病院改革推進課 ☎072(740)1136

年度末資金不足額 3億 1,538万円
市立総合医療センターを4年9月開院に向けて準備

新病院建設事業については、4年9月の開院に向けて2年

支 出		収 入	
減価償却費	2億4,184万円	他会計負担金及び交付金	6億2,905万円
指定管理料	2億 855万円	長期前受金戻入	1億4,206万円
経費	1,880万円	指定管理者負担金	1億 865万円
支払利息	2,007万円	その他の収入	1,101万円
その他の支出	2億9,419万円	特別利益	350万円
特別損失	3万円		
小計	7億8,348万円	小計	8億9,427万円
当年度純利益	1億1,079万円	当年度純損失	
合計	8億9,427万円	合計	8億9,427万円

水道

問い合わせ
上下水道局経営企画課 ☎072(740)1260

8,713万円の黒字
送配水管耐震化工事などに4億797万円

改良・5期拡張工事に取り組み、水質管理の充実に努めま

支 出		収 入	
受水費	8億3,057万円	水道料金	22億4,202万円
減価償却費	5億4,536万円	分担金	1億8,864万円
委託料	4億4,594万円	長期前受金戻入	1億6,496万円
修繕費	3億5,699万円	動力・薬品費	4,560万円
人件費	2億2,718万円	支払利息	3,540万円
動力・薬品費	4,560万円	特別利益	6,475万円
支払利息	3,540万円	その他の収入	1億6,294万円
その他の支出	2億4,914万円		
小計	27億3,618万円	小計	28億2,331万円
当年度純利益	8,713万円	当年度純損失	
合計	28億2,331万円	合計	28億2,331万円

※修繕費には材料費・路面復旧費を含みます。

下水道

問い合わせ
上下水道局経営企画課 ☎072(740)1260

6億1,117万円の黒字
管渠やポンプ場の整備などに9億1,125万円

建設改良事業に取り組み、公共用水域の水質保全に努めま

支 出		収 入	
減価償却費	17億7,717万円	下水道使用料	17億6,560万円
負担金	5億8,224万円	長期前受金戻入	9億6,321万円
人件費	2億3,589万円	他会計負担金及び補助金	9億3,688万円
支払利息	1億8,936万円	その他の収入	1,003万円
修繕費	1億2,618万円		
委託料	1億 507万円	小計	36億7,572万円
その他の支出	4,864万円	当年度純利益	6億1,117万円
小計	30億6,455万円	合計	36億7,572万円
当年度純利益	6億1,117万円		
合計	36億7,572万円		

※修繕費には材料費を含みます。

10月から市立総合医療センターの建設工事に着手しました。
また、現市立川西病院の跡地活用については、回復期病床を確保できる今井病院移転案を選択し、看護師宿舍・医師住宅などの解体工事に向け、解体設計業務などを実施しました。
資金不足額については、消費税及び地方消費税の還付金により3年度末に解消する見込みです。

借 方		貸 方	
土地、建物、器械備品、投資など固定資産	107億 353万円	企業債、他会計借入金など固定負債	119億6,822万円
		一時借入金、未払金など流動負債	7億9,691万円
		繰延収益	7億8,706万円
		資本金	1億1,018万円
現金預金、未収金など流動資産	2億3,722万円	受贈財産評価額、国庫補助金など資本剰余金	19億8,909万円
		欠損金	47億1,071万円
合計	109億4,075万円	合計	109億4,075万円

した。改良工事では、送配水管の耐震化・給配水管敷設替工事、継続事業として配水池の耐震化工事などを3億6,143万円で行った。5期拡張工事では、配水管布設工事などを4,654万円で行った。今後も、経営の健全化及び基盤強化に努めるとともに、施設の更新を着実に進めながら、安全な水道水を安定して送り続けていきます。

借 方		貸 方	
土地、建物、構築物、ダム使用権、投資など固定資産	192億 580万円	固定負債	20億7,707万円
		未払金など流動負債	4億9,845万円
		繰延収益	35億9,778万円
		資本金	56億6,836万円
現金預金、未収金など流動資産	51億3,515万円	受贈財産評価額、国庫補助金など資本剰余金	90億6,436万円
		利益積立金	3億4,900万円
		建設改良積立金	12億8,000万円
		当年度未処分利益剰余金	18億 593万円
合計	243億4,095万円	合計	243億4,095万円

した。同事業では、管渠（家庭などから出た生活雑排水などの汚水や雨水を流す下水道管）の整備やポンプ場の設備更新などを、9億1,125万円で行った。今後も時代の変化を踏まえ、維持管理や浸水・地震などの課題に対応していくとともに、運営基盤の強化を図りながら事業を展開していきます。

借 方		貸 方	
土地、建物、構築物、機械及び装置、施設利用権など固定資産	376億7,547万円	固定負債	108億6,226万円
		未払金など流動負債	16億 491万円
		繰延収益	169億2,720万円
		資本金	68億1,681万円
現金預金、未収金など流動資産	27億4,464万円	受贈財産評価額、国庫補助金など資本剰余金	9億7,900万円
		減債積立金	11億5,400万円
		当年度未処分利益剰余金	20億7,593万円
合計	404億2,011万円	合計	404億2,011万円



①生活困窮対策の強化のための窓口を設置
②感染予防対策として避難所におけるベッドなどを購入
③小・中・特別支援学校や家庭などにおけるICT学習環境の整備
④図書館に電子図書館を導入
⑤オンラインによる新しいカタチの成人式を開催



コロナ対策で実施した主な事業

避難所の感染症予防対策や小・中・特別支援学校のICT化など

2年度決算報告

問合わせ 企画財政課 ☎072(740)1130

補助金などを活用し
各種対策と支援を実施

2年度は新型コロナウイルス感染症の感染予防対策をはじめ、感染症拡大の影響を受けた市民や事業者に対する支援を行いました。

感染症対策の取り組みの総額は186億3291万円で、大部分は国や県からの補助金などを活用して実施しました。

【感染予防対策事業 1億833万円】

避難所における消耗品・ベッド、トイレなどの確保や、応急診療所における電話医療相談業務委託などを実施。

【福祉施設・従事者、地域医療等応援事業 4401万円】

クラウドファンディングを活用した福祉施設従事者へのギフトの贈呈や、地域医療を守るための阪神北広域こども急病センターへの支援などを実施。

【小・中・特別支援学校のICT化とオンライン学習環境の整備、子育て世帯、

ひとり親世帯などへの特別給付金の給付、地域人材を活用した学習指導員の配置などを実施。

【市民生活応援事業 158億2237万円】

全市民に対して一人当たり10万円の特別定額給付金の給付や、生活困窮者自立相談の体制充実・SNSの活用などを実施。

【地域経済の応援事業 5億1620万円】

電子プレミアム付商品券とテイクアウトクーポンの販売や、持続化給付金対象外の事業者などへの、つながりづくり事業者支援金の給付などを実施。

【新しい市民生活支援事業 3344万円】

電子図書館の導入や、スポーツクラブなどと連携した健康づくり応援、密を回避しつつ二十歳の節目を祝うオンライン配信による成人式などを実施。

【新しい行政運営推進事業 1071万円】

ウェブ会議システムの導入や、コロナウイルス感染症対策における市民協働・官民連携の推進などを実施。